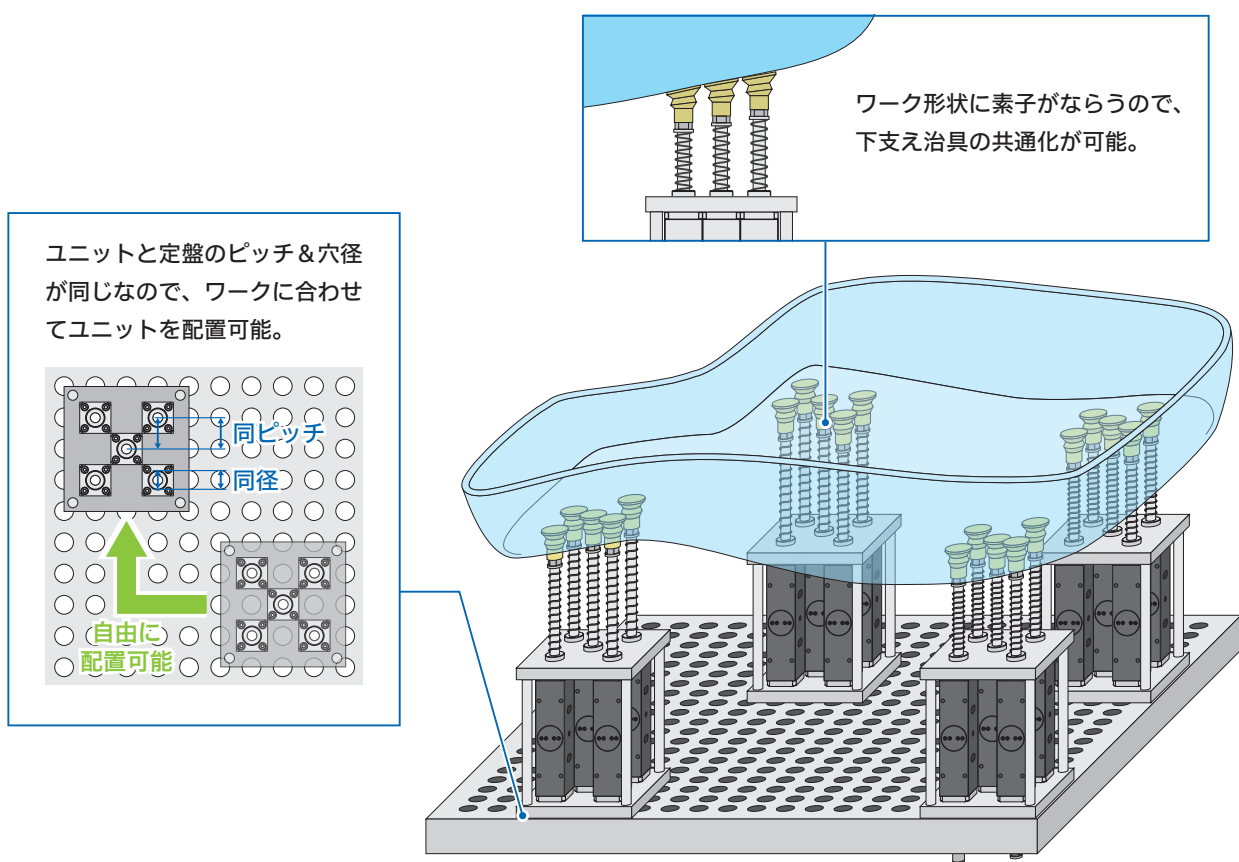


ユニットの位置変更が可能な吸着治具 2



概要

一定間隔で穴をあけた定盤と、カスタムクランパーで制作したならいユニット複数個による吸着下支え治具。カスタムクランパーにエアを供給し、素子をフリーにした状態でワークを押し付けると、素子がワーク形状になります。カスタムクランパーへのエア供給を止めると、素子がある場でロックし、下支え治具になります。定盤の穴径はカスタムクランパーの端面についているリニアプッシュと同径。穴ピッチはユニットのカスタムクランパーのピッチと同じです。このため、ワークのサイズや形状に合わせて、ユニットを定盤上で自由に配置することができます。

クイッククランパー導入効果

多品種少量生産の現場では、ワークごとに治具が必要のため、治具の製作コストがかさみ、保管場所も必要となります。

ならいユニットを使用した吸着治具ならば、素子がワーク形状にならうので、複雑な形状のワークに対応。定盤上でユニットの配置を変えれば、サイズや形状の異なる様々なワークを吸着・下支えできます。

治具の設計や製作にかかるコストと、保管場所の削減に貢献します。

利用製品： カスタムクランパー



分野：一般産業製品、食品機械、自動車

用途例：樹脂成型部品下支え、自動車・二輪車のプレス部品下支え

製品動画

